

広報 ほんべつ

September 2009
HONBETSU
Public Relations
NO. 971

いいひと いいまち いきいき ほんべつ



2 「福祉でまちづくり」

宣言記念事業

4 本別きらめきタウンフェスティバル
国民年金コーナー

心に響く書との出会い

6 「相田みつを展」

8 第25年次本別・南三陸ふるさと交流研修会

10 いざよい会／樽生ビアー彩

12 本別町婦人ボランティア40周年記念事業
子ども七夕まつり

14 仮装盆踊り

チエコフィルハーモニー八重奏団演奏会

知つておこつ

16 新型インフルエンザ

18 第六次本別町総合計画
Part4

25 定額給付金申請
お急ぎください

ハロー仙美里中学校……………19
マイタウン……………20
みんなの健康・銀河ホットライン……………23
ご寄付ありがとうございます……………24
本のある暮らし・わたしたちのまち……………26



浴衣がかわいらしいでしょ

子ども七夕まつりにかわいい浴衣を着た大勢の子供たちが会場を訪れました。願いが込められた短冊を柳の枝に飾りつけた後、盆踊りを楽しみました（写真は南保育所の園児たち）

「福祉のまち」から福祉で「まちづくり」という視点で捉え、地域全体で福祉を推進するため、平成十八年二月二十三日に「福祉でまちづくり」宣言を行いました。

これからの「ほんべつ」の福祉は「自助・共助・公助」の考え方のもと、町民の皆さん・介護サービス事業者・社会福祉協議会・行政が協働の輪を広げ、年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが安心して暮らせるまちを目指し、未来ある子供たちへと引き継ぐことが大切です。本年度は「地域における絆づくり」をテーマに、老若男女を問わず世代を超えた人と人とのつながりをつくるため、高齢者の話に耳を傾け、世代間交流の場を少しでも多く創出するきっかけづくりとして、「聴き書き」イベントの普及を目指した記念事業を実施します。

今年のキーワードは「聴き書き」

今年の「福祉でまちづくり」宣言記念事業は、NPO法人「昭和の記憶」代表理事・事務局長の瀧澤尚子さんをお招きし、「聴き書き」からのまちづくりについて考えます。

聴き書きってなに？

「聴き書き」とは日本現代史や地理に関する知識や当時の習俗に関する知識を高齢者にインタビューし、それを原稿にし、編集することにより冊子などに残す技術です。

瀧澤さんは、高齢者ケアのボランティア活動の中で、介護という身体的な関わり方だけではなく、

精神的にも充実した日々を過ごすことができないかとの思いから「聴き書き」活動を始めました。高齢者の話に耳を傾ける「聴き書き」を通じて、「子供と高齢者の世代間コミュニケーションの促進」「地域内コミュニケーションの活性化促進」「高齢者への尊敬の念、活性化の促進」などから、家族、強いては地域における絆づくりへと発展させていき、安心して暮らすことのできるまちづくりへとつながっていくことを目指します。

NPO法人「昭和の記憶」

高齢者の「記憶」を後世に伝えることを目的に活動する民間非営利団体

第2部「宣言記念講演会」

とき **9月7日（月）午後6時30分～午後8時30分**

ところ **中央公民館大ホール**

内容 1. 福祉でまちづくり宣言朗読

本別伝統文化継承会（詩吟）堀切千鶴子氏（南1丁目）

本別町伝統文化継承会では、日本の歴史を守り、子供たちに「生け花」「お茶」「詩吟」の体験を通して豊かなところを育む活動を行っています。当日は「詩吟」で宣言文の朗読を行います。

2. 福祉でまちづくり宣言記念講演

テーマ 「地域における絆づくり」

講師 NPO「昭和の記憶」代表理事・事務局長 瀧澤尚子氏

地域における絆づくりについて、講師が「聴き書き」活動を通じて得た、高齢者とのコミュニケーションを取る楽しさや、難しさについての体験談のほか、「聴き書き」によって深められる家族の絆などについて講演いただきます。



瀧澤尚子氏プロフィール
一九八一年 神奈川県横浜市生まれ。二十八歳
早稲田大学第一文学部卒業
大学時代は、劇団に所属し、演劇活動。高齢者・障がい者ケアのボランティア活動、国際協力NGOでのインターン活動を行う。ホームヘルパー二級、ビジネス著作権検定初級取得
メディア出演 テレビ
二〇〇七年九月 NHKおはよう日本（首都圏版）
二〇〇八年六月 大阪朝日放送「ムーブ」
二〇〇八年九月 NHKニュースウォッチ9
二〇〇八年十月 ケーブルテレビ（イッツコムチャンネル）
二〇〇九年五月 TBS女子オアシス！

3. 「聴き書き」イベント報告会

本別中学校「介護・福祉コース」、本別町老人クラブ連合会

第1部の本別中学校で実施した「聴き書き」イベントの様子をビデオ紹介するとともに、協力いただいた本別町老人クラブ連合会会員からも報告をいただき、「聴き書き」の普及を図ります。

主催 本別町

後援 本別町老人クラブ連合会

二年間の任期がスタート

第一回健康長寿まちづくり会議が七月二十九日、津村会館で開催されました。

公募、保健福祉関係者など新委員二十二名へ委嘱状が手渡された後、高橋正夫町長は「この会議は、保健福祉全般を支えてもらっている会議。全ての人が、安全安心で暮らすことができるようなまちづくりのために協力をお願いしたい」とあいさつ。事務局からは、今後二年間の会議の進め方などについて説明がありました。役員の選出では、委員の互選により佐藤耕一氏が会長に就任。佐藤会長の指名で苦情調整部会を含めた三部会の委員も指名され二年間の任期がスタートしました。



新役員
会長 佐藤耕一氏
副会長 遠藤一雄氏
副会長 藪谷洋子氏
事務局長 三枝金作氏

お問い合わせ 総合ケアセンター ☎22-8520

第1部「聴き書き」イベント

とき **9月7日（月）午後1時45分～午後3時35分**

ところ **本別中学校体育館**

内容 総合学習の「介護・福祉コース」を選択している生徒（32人）が、「人生の大先輩である高齢者への尊敬の念や理解を育む機会として、また、昭和初期の生活や多くのことを学ぶ」ことを目的に、本別町老人クラブ連合会会員と「聴き書き」を実施します。一般の人、学習内容を自由にご覧になれます。

※今回取り組んだ成果は、11月に開催される「ほんべつ学びの日の集い」で作品展示いたします

9月6日(日)

10:00～ うまいもの市
売店コーナー
友好都市小松島市物産市
牛乳消費拡大コーナー

10:45～ 牛乳無料配布 (限定200個)

11:00～ 熱気球体験試乗
(小学生以上1回
500円)

ふわふわランド
郷土芸能

義経太鼓／駒踊り／本別小唄
ほんべつ義経爛漫よさこい演舞

12:30～ お笑いショー
くまだまさし&しろつぷ

13:45～ 牛乳消費拡大〇×クイズ

14:00～ キャラクターショー
子供ゲーム大会&抽選会など

18:30～ 歌謡ショー

香西かおり (演歌)
みのや雅彦 (フォークソング)
司会: 高山 幸代



20:00～ 閉 会 ※お店は20:30まで営業

9月5日(土)

11:00～ うまいもの市
売店コーナー
友好都市小松島市物産市

13:00～ 馬とのふれあい広場

・リッキー号馬車乗車
・ウエスタンホース乗馬体験
・ポニー馬車乗車
・浅草「仲見世」
から炭火焼せん
べい実演限定無
料配布



15:30～ 開会式

16:30～ 自衛隊音楽隊演奏

18:00～ バンドLIVEステージ

19:30～ 東十勝花火大会

初秋の夜空を彩る4,000発の極彩色の花

21:00～ 閉 会

お問い合わせ
役場企画振興課
商工観光・元氣まち担当
☎22-8121 (課直通)

本別きらめきタウンフェスティバル実行委員会
共催／本別町・本別町農業協同組合・
本別町商工会・本別町観光協会・
本別建設業協会・本別町馬事振
興会・本別町自治会連合会・北
海道新聞社帯広支社・十勝毎日
新聞社・十勝ふるさと市町村圏
東北ブロック実行委員会
後援／北海道開発局帯広開発建設部・
十勝観光連盟・明治乳業株式会
社・北海道糖業株式会社
支援／陸上自衛隊第五旅団・本別建設
業協会二世会

本別きらめきタウンフェスティバル
2009
本別最大のイベント「きらめきタウンフェスティバル」が開催されます。
今年も盛りだくさんの催し物で来ていただいた方々をお迎えしますので、
多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

と き 9月5日(土)・6日(日)
と ころ 利別川河川敷地特設会場



詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
☎22-8128 (課直通)

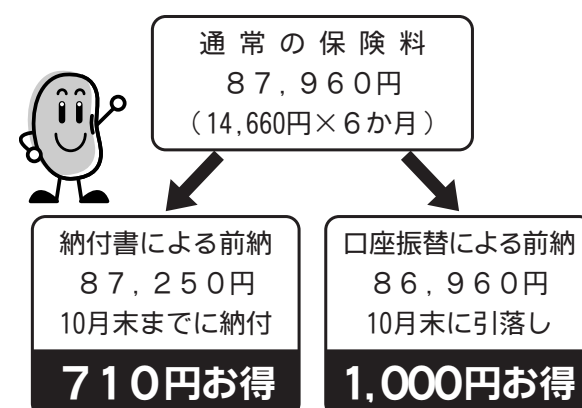
申し込みおよびお問い合わせ
帯広社会保険事務所
☎0155-25-8113

納付する月による納付額と割引額

納 付 月	平 成 21 年			平 成 22 年		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通常保険料	87,960円	73,300円	58,640円	43,980円	29,320円	14,660円
前納(口振)	86,960円	—	—	—	—	—
前納(納付書)	87,250円	72,820円	58,350円	43,840円	29,270円	14,660円
クレジットカード納付	87,250円	—	—	—	—	—
割 引 額	1,000円	710円	480円	290円	140円	50円

※口座振替による前納は、1年分(4月分～翌年3月分)、半年分(4月分～9月分、10月分～翌年3月分)および1か月分(当月末振替)のみとなります。
当月末振替は月々50円割引となります。

平成21年10月に平成22年3月分まで(平成21年10月分～平成22年3月分)を前納した場合



平成22年3月分までの国民年金保険料をまとめて納付すると、保険料額が割り引きされてお得なうえ、納め忘れの心配もなく安心です。

国民年金保険料は、
まとめて前納すると割引
があり、お得です！

国民年金
こーな
その89

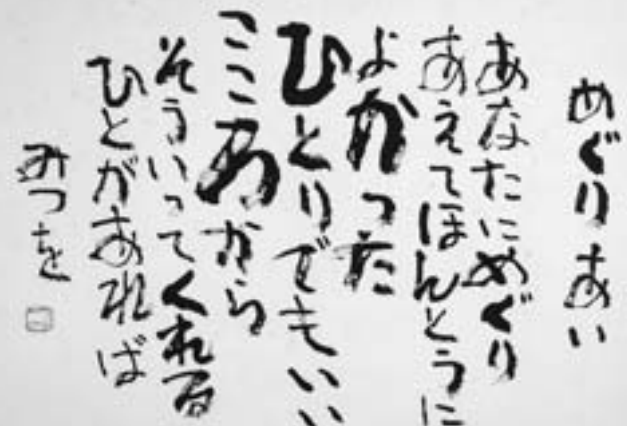
その他 託児所を設けています



1955年	栃木県足利市で相田みつをの長男として生まれる
1996年	東京銀座に相田みつを美術館を開館
2003年	東京国際フォーラムに新美術館をオープン
【著書】	「父 相田みつを」 「書 相田みつを」（文化出版局）

親しみのある書体で表現された相田みつをの作品、しかし、そこに書かれている書体は一朝一夕に生まれたものではありません。十代の旧制中学校時代から、書と短歌に打ち込み二十代、三十代は試行錯誤を繰り返しながらも次第に自分のスタイルを確立していきました。人のこころを深く掘り下げたことばを誰にでもわかるように、受け止めてもらえるようにと、常に追求していたのです。

そして、四、五十代になっていわゆる「相田みつを」らしい幾多の作品が書かれました。特に六十代前半は生涯の充実期と呼んでもいい時期で、自分の体調と技術、そして創作意欲のバランスがとてもいい状態の中で、心に響くメッセージを独特の書体で表現し、たくさんの作品を残しました。



中央公民館、町体育館、町図書館、役場勇足・仙美里出張所、本別町
芸術文化事業振興会各理事宅、藤丸チケットぴあ、かちまいサロン、
十勝管内各市町村教育委員会窓口

本別・南三陸 ふるさと交流研修会



八月三日から五泊六日で行われた「本別・南三陸ふるさと交流研修会」は今年度で二十五回目。訪問時の東北地方は梅雨明けをしておらず、じめじめした天気が続く中での研修会となりました。本別町からは十五人の中高生が派遣され、宮城県南三陸ボランティアサークル「ぶらんこ」の指導の下、ジュニアリーダー（JL）初級研修会に参加。この研修会に参加した中高生のみなさんは、宮城県教育委員会よりジュニアリーダー初級資格の認定を受けました。



西岡育実さん
(本別中1年)
ふるさと交流で楽しかったことは、みんなで大声を出して歌ったことです！



黒川桃歌さん
(本別中2年)
宮城は全てが北海道と違い、本当に楽しかったです。南三陸町に行けて良かったです。



佐藤祐憲くん
(本別中1年)
キャンプファイアでは、みんなと友達になれたのでとても良かったです！



松井洸樹くん
(本別中2年)
「ぶらんこ」のみんなと交流ができて良かったです。そして心もつながりました。



大木彩香さん
(仙美里中1年)
楽しかったのはバナナポート。すごいスピードでかかる水しぶきもとても気持ち良かったです！



いかだ作り・レース



バナナポート



加藤春菜さん
(仙美里中1年)
楽しかったのはキャンプファイア。大声で踊ったりしたことがとても思い出に残っています。



白幡春奈さん
(勇足中3年)
一番の思い出はキャンプファイア。ダンスは大変でしたが、ゼーンぶ楽しめました！



星崎沙也加さん
(仙美里中3年)
長いようで短かった3日間の初級研修。その間でみんなの成長が見ることが出来て良かったです！



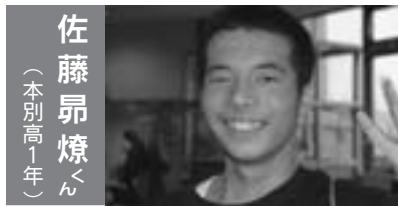
山岸郁美さん
(本別高2年)
本気で遊び、本気で学ぶ。JLができるこの環境に感謝します。ありがとうございました。



猪狩和代さん
(地域青年育成者)
引率させて頂く機会に恵まれました。腫が輝き、日に日に成長していく子どもたちを間近で見られ、うれしく思いました。



成田勝美さん
(仙美里中1年)
海水浴が楽しかったです。海草がたくさんあったけど、みんなと遊べて良かったです。



佐藤昂燎くん
(本別高1年)
今回の研修で楽しかったのは、カッターポート！苦しかったけど良い経験ができました。



西尾美姫さん
(本別中3年)
3日間の研修はとても短かったですが、リーダーとして行けて学ぶこともありました。JL大好き！



伊東玲菜さん
(勇足中1年)
楽しかったことは、キャンプファイア。みんなとダンスをしたりして盛り上がりました！



阿彦恵さん
(本別高2年)
この研修で声が枯れました。少ない時間で絆がたくさんできました。みんなずっと大好きだよ！



志戸田康代さん
(本別高1年)
1日1日がとても濃くて、あっという間の研修会。殻を破ってくれた初級生のみなに感激！

出会い、ふれあい、磨きあい

春休みには南三陸町のジュニアリーダーたちが3泊4日の日程で来町して本別町での活動を中心に交流研修をしました。そして夏休みには本別町から南三陸町へ訪問し、ジュニアリーダー初級研修に参加しています。

南三陸町の宿泊研修施設「志津川少年の家」のスローガンに「出会い、ふれあい、磨きあい」というものがあります。本町の中高生は挨拶するにしろ最初は少しおどおどしていましたが、研修が終わるころには磨きもかかり一皮むけて、堂々としていました。

この交流研修会では、初めて出会った子供たちの自己研鑽がはっきりと感ずることが出来ます。この充実感は「感動の涙」となり心を潤し、新たな自分を見つけることができます。そんな素晴らしい研修会がこれからもずっと続くことを、そして来年度中学1年生になるみなさんも、ぜひ一緒に宮城県南三陸町へ行って、新しい自分を見つけて欲しいと願っています。
(社会教育担当)

研修旅行日程

8月3日(月)

12時30分 中央公民館出発
19時00分 苫小牧港発

8月4日(火)

9時20分 仙台港着
11時20分 南三陸町着
17時00分 町内視察研修
17時00分 民宿着



サンオーレ袖浜で海水浴



海洋生物研修

8月5日(水)

9時00分 志津川自然の家着
↑JL初級研修1日目↓



いかだ作り・レース



バナナポート

8月6日(木) 研修2日目↓



カッターポート漕艇



キャンプファイア

8月7日(金) 研修3日目↑

10時30分 志津川自然の家発
マリンピア松島水族館
19時40分 仙台港発
仙台七ツまつり視察



再会を誓って...

8月8日(土)

11時20分 苫小牧港着
16時30分 本別町着





ほろ酔いで盛り上がる来場者

町商工会 青年部（茂古沼裕部長）主催の第24回樽生ビアー彩が7月25日、役場前町民憩いの広場で開催されました。

天気予報通りの雨模様となった当日は、出だしこそ会場を訪れる人もまばらで客入りが心配されましたが、日が暮れ、雨が強さを増すと同時に雨に負けじと傘をさした友達同士や家族連れが増え始め、いつのまにか会場は傘を片手に生ビールを飲み干す人で埋めつくされていました。

会場には、黒豆コロッケや焼き鳥、フランクフルト、クレープなどを提供するたくさんの屋台が並び、バンド演奏やフラダンス、「ほんべつ義経爛漫」によるよさこい演舞披露、「何ん田研二」ものまねライブ、豪華景品のあたる抽選会など盛りだくさんのイベントや生ビールなどで会場に訪れた人たちは、短い夏を楽しみました。



写真上：クレープの出来上がりを待つ子供
写真下：傘・かさ・カサ

樽生ビアー彩
雨でもビールは最高！

いざよい会
早期発見・早期治療



真剣な眼差しで講演を聴く参加者

「知れば」防げる“NO”卒中」をテーマとした「いざよい会」が7月24日中央公民館で開催され、帯広厚生病院脳神経外科主任部長の大瀧雅文先生と理学療法技術部門技士長の島田勝規先生が、脳卒中の現状と治療法などについて講演し、会場に訪れた約160人は真剣な眼差しで話しに耳を傾けていました。

大瀧先生は、年々脳卒中の患者が増えており、特に高齢で脳卒中を発症する患者が目立つことから、介護による家族の負担を増やさないためにも脳ドックを受けるなど日ごろからの予防を呼び掛けました。また、脳卒中になった場合でも、発症から2時間以内に手術などを行う「急性期病院」に到着できれば、「t-P A（血栓溶解療法）」と呼ばれる最新の治療でほぼ後遺症なく回復できると説明し、急性期病院と地域病院との病院間での連携の大切さを訴えました。

島田先生は、寝たきりになることを防ぐための早期リハビリの必要性和患者さんの回復のため、「良い手術、良いリハビリ、そして元気になって帰ってもらうことに心掛けリハビリを行っている」と話しました。現在は、脳卒中地域連携パスといった、手術などを担当する「急性期病院」と機能回復などを担当する“回復期リハビリテーション病院”が病院間の連携体制を強化し治療にあたっており、このパスを利用して約8割の患者が自宅での生活を送り、通院負担の軽減にもつながっていると話しました。



写真上：大瀧雅文先生
写真下：島田勝規先生



元気な盆踊りを見せてくれた子供たち

第31回 子ども七夕まつり（実行委員会主催）が8月2日、役場前町民憩いの広場で開催されました。

会場には、かわいい浴衣を着た子供たちによる柳の枝に“願いを込めた短冊”の飾りつけがされたほか、町内子供会育成会役員などの実行委員が、射的、型抜きなどのゲームや焼きそば、綿あめなどの屋台で子供たちを楽しませました。

子ども盆踊りは、天候を考慮し3曲に短縮。短い時間ではありましたが、子供たちは元気な踊りを見せてくれました。義経太鼓の披露やあんどんパレードも行われ、最後は毎年恒例の花火でしめくくり、子供たちは夏の楽しいひとときを過ごしました。

開会式では、防犯ポスター展入賞者の表彰式も行われました。

防犯ポスター展表彰式

平成21年度の「防犯ポスター」の表彰式が8月2日、子ども七夕開会式会場で行われました。

受賞者は次の通りです。（敬称略）

町長賞＝宮野真衣（勇足小学校5年）
本別警察署長賞＝大泉裕太（仙美里中学校1年）
町生活安全推進協議会長賞＝
石山成美（本別中学校2年）
社会を明るくする運動町実施委員会委員長賞＝
青砥有沙（本別中学校3年）



写真上：にぎわいを見せる会場
写真下：防犯ポスター展受賞者
左から 青砥さん、石山さん、大泉さん、宮野さん

子ども七夕まつり 願いが届きますように

本別町婦人ボランティアクラブ 発足40周年記念式典



あいさつをする鎌田きくゑ会長

本別町婦人 ボランティアクラブ（鎌田きくゑ会長：会員25人）発足40周年を記念した式典が7月28日、津村会館で開催されました。

式典では出席者全員で物故した会員への黙とうで始められ、4代目の鎌田会長が「昭和44年のボランティアも周知されていない時代に、先輩たちが主婦の社会参加のための一歩を踏み出した。これまで、町内イベント等での食事作りなどに協力してきた。『おいしかった』の一言がうれしく続けてこれた。恵まれた環境にあっても、どんな世の中になっても“私たちの小さな力”を必要としている人がいる。これからも、一歩一歩進んでいきたい」とあいさつ。

続いて、同クラブでの功績を称えて根元幸子さん、嶋崎節子さん、藤野愛子さんの3人に感謝状と花束が送られました。高橋正夫町長、衆田達一町社会福祉協議会会長が祝辞を述べた後、受賞者を代表して根元さんが「厳しくもあり、優しくもあった偉大な先輩に育てられた。その教えがあるからこそ今がある。婦人ボランティアの原点をつくってくれた先人の苦勞と頑張りに感謝したい」とお礼を述べました。

式典終了後には祝賀会が行われ、出席した約30人は入会当時などの思い出話に花を咲かせました。

本別町婦人ボランティアクラブ

昭和44年7月28日に大橋シマ氏を初代会長に、町内の女性約40人で発足。以降、町内イベントでの食事作りや施設慰問などのボランティア活動に取り組む。その功績が認められ、平成16年に厚生労働大臣表彰を受賞している。



写真上：感謝状を受け取る根元幸子さん
写真下：式典に駆けつけた出席者

世界の名門 チェコ・フィルハーモニー 八重奏団演奏会



予定プログラム

●第1部 《クラシック名曲選》

スメタナ……………モルダウ（6分）
ドヴォルザーク……交響曲「新世界」より第2楽章“ラルゴ(家路)”（5分）
チャイコフスキー…バレエ「くるみ割り人形」より“花のワルツ”（5分30秒）
ラヴェル……………亡き王女のためのパヴァーヌ（5分）
ビゼー……………歌劇「カルメン」より 序曲～間奏曲Ⅰ～間奏曲Ⅲ（7分）
ドヴォルザーク……ユモレスク（3分）
ネドバル……………バレエ「怠け者の物語」より“悲しきワルツ”（5分）
シュトラウス2世…皇帝円舞曲（4分）

*** 休 憩 ***

●第2部 《日本の歌、世界のメロディー》

日本の歌……………ふるさと～赤とんぼ～さくらさくら～荒城の月～浜辺の歌（10分30秒）
ドイツ民謡……………ローレライ（3分）
ロシア民謡……………黒い瞳（2分30秒）
イギリス民謡……………グリーンスリーブス（3分）
ドヴォルザーク……わが母の教え給いし歌（4分）
フィビヒ……………詩曲（2分）
デンツァ……………フニクリ・フニクラ（2分）
ビートルズ……………エリナー・リグビー（3分）
ジョブリン……………エンタイナー（2分30秒）

“日本の歌、 世界のメロディー”

誰もが知っている世界の名曲や愛唱歌を集めた『日本の歌、世界のメロディー』。

音楽への愛情あふれる滋味豊かな響きがボヘミアの郷愁と静かな感動へと誘う…。

独特の温かみのある弦楽器の響きの美しさと、まろやかな木管楽器の音色を聴きに、ぜひ足をお運びください。

と き **10月7日(水)**

開場：午後1時

開演：午後1時30分

ところ **中央公民館**

入場料 **無 料**（整理券が必要です）

整理券取り扱い窓口

町体育館、中央公民館

※整理券は会場の関係で先着300名様までとさせていただきます

お問い合わせ

教 育 委 員 会
管理課学校教育担当
☎ 22-2331

仮装盆踊り ユーモアあふれる衣装で



踊りを楽しむ参加者

町商工会（岡崎勉会長）主催のほんべつ仮装盆踊り大会が8月16日、役場前町民憩いの広場で開催されました。

優勝を目指して町内外から団体の部に14団体192人、個人の部に4人が出場。宝塚やアニメドラゴンボール、ピエロなどユーモアあふれる衣装を身につけた踊り手は、後半は雨にみまわれながらも北海盆唄に合わせてそれぞれアレンジした踊りを披露し、詰めかけ大勢の観衆の目を楽しませました。

前段には子供仮装盆踊りも行われ、かわいらしい子供たちがマイマイガや機関車トーマスなどの衣装を身にまとい元気な踊りを見せてくれました。

上位の結果は次の通りです。

【団体の部】

優 勝＝宝塚北8組（千葉勝雄代表、20人）
準優勝＝北5丁目 どんたくまつり（林武代表、20人）
3 位＝乱舞獅子（田西昭子代表、16人）

【個人の部】

優 勝＝沢井信義さん（清水町）
準優勝＝榊原信博さん（足寄町）
3 位＝川田洋子さん（足寄町）



写真上：仮装したかわいらしい子供たち
写真下：やぐらの上では力強く熱唱



8月10日から 北海道内の新型インフルエンザへの 対応が**変わりました**

これまで、発熱等の症状がある人は、まず保健所に設置している「発熱相談センター」に電話をして、保健所においてあらかじめ指定した「発熱外来」を受診するよう広報等でお知らせしてきました。

しかし、これからは身近な医療機関に直接受診できるようになりましたので、次の留意事項を確認のうえ受診してください。

また、救急車の出動についても直接119番による要請ができるようになりました。

●事前に医療機関に電話した上で受診しましょう

・受診しようとする医療機関に事前に電話連絡し、受診時間帯や受診方法などについて指示を受けてください

●受診の際にはマスクをつけましょう

・検診や他の病気で受診する人などへの感染防止対策としてマスクは必要です
・自家用車で行くなど、公共交通機関の利用はできるだけ避けてください

●慢性の病気をもちの人は「かかりつけ医」に電話相談してから受診するか、「かかりつけ医」から紹介された医療機関で受診してください

●妊娠中の人は「かかりつけの産婦人科医」に電話連絡し、受診する医療機関の紹介を受けてください

●受診医療機関がわからない場合や、在宅療養の不安などの相談については、引き続き「発熱相談センター」にお電話ください

●北海道では、新型インフルエンザまたはインフルエンザと診断され、在宅療養中の人の健康相談などを目的とした相談窓口を設けています

北海道庁健康安全室の相談窓口

☎011-204-5253

※平日の午前8時45分から午後5時30分まで

発熱相談センター（帯広保健所内）相談窓口

☎0155-27-8637

☎0155-21-6399

※平日のみ午前8時45分から午後5時30分まで

今秋以降、新型インフルエンザと季節性インフルエンザの双方が大流行することが懸念されています。町民の皆さん一人ひとりが、個人でできる感染予防対策をとることで、感染の急速な拡大や、大規模かつ一斉の流行を避けることができます。

新型インフルエンザの症状は？

季節性のインフルエンザの症状に似た症状が出ます。熱、倦怠感、食欲不振、せきのほか、鼻水、のどの痛み、吐き気、嘔吐や下痢などの症状が出る人もいます。



新型インフルエンザの感染予防は？

- ・せきエチケットを守りましょう（せき、くしゃみが出る場合には、ティッシュ、ハンカチなどで鼻や口を押さえ飛沫を飛ばさないよう心掛けましょう）
- ・外出時はマスク、帰宅後のうがいや手洗いを行いましょう
- ・必要なとき以外は、人込みを避けましょう
- ・十分な栄養と休息をとりましょう
- ・室内を適切な温度や湿度に保ちましょう



詳しい情報は本別町公式ホームページをご覧ください

<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp>

お知らせ－新型インフルエンザ

インフルエンザに関するお問い合わせ・ご相談は健康管理センターへ ☎22-2219

各学校の手作りページ

HELLO 仙美里中学校



【PTA研修会】
子どもと一緒に「食」を学ぶ機会に

- 心の響き合うPTA
- 子どもと共に成長するPTA
- 協力・実行するPTA

昭和六十二年七月制定

仙中PTAスローガン

教育目標 向学 文楽 壮健



【小中合同運動会】
競技役員は研修部員の出番です！

PTAの支援を受けて

学校にとって、PTAからの支援や協力はなくてはならないものです。
仙美里中学校PTAは、互いに学びあいながら、学校を支えています。



【SMAP事業】
町外視察研修で地域づくりを学ぶ



【環境整備作業】
子どもたちが気持ちよく過ごすために

仙中PTA 主な事業

学校教育活動への支援

- 環境整備作業
- ◇合同運動会への協力
- 文化祭への協力

教育に関する学習

- PTA研修会
- SMAP事業（視察研修）
- ◇小中父母の集い

相互の親睦を深める

- 歓迎会
- ◇合同レクリエーション・懇親会
- ◇合同送別会

注）◇印は仙小PTAとの連携事業



【文化祭】
バザーも女性部の支えがあってこそ



【小中合同レクリエーション】
ときには和気あいあいと親睦を深めて

シリーズ 第六次本別町総合計画

Part4

今回は、七月二十七日に役場で開催された第二回策定委員会において委員一人ひとりが語った、将来の本別町へのまちづくりに対する熱い想いを紹介します。

策定委員一人ひとりのまちづくりへの想い

- 私が生まれ、育ったまちです。元氣なまちにしていきたいと思っています。
- 東京から移住してきました。まちづくりにも役になれたらいいと思います。参加した。東京から比べると本別はいい人ばかりで住みやすいです。空論の計画でなく、将来に責任のある計画を策定していきたい。
- 子供たちの元氣な声が聞こえる本別町にしていきたい。
- 障がいを持つ子供もこの地域で教育を受けていくのに何が必要か学んでいるところです。今の活動が将来の子供たちのためになればと思っています。私自身もこの本別町で将来に渡り、生活していきたい。
- 町民の皆さん一人ひとりが豊かで和やかな生活が出来るようなまちづくりに努力していきたいと思っています。より良い福祉のまち、そして、あたたかい協働のまちに力を注いでいきたい。
- 本別町の人口減、商店街の空き店舗
- 健康で長生きしていけるようなことを盛り込むことが、良いまちになるのではと考えています。また、現在、ハンディを持った子供たちの仕事をさせていたでいています。そのことも計画の中に盛り込んでいきたい。
- この審議会に期待をしています。お互い刺激し合いながらより良い意見が出し合えるのでは。その方が、具体的な施策が出来るのでは。
- 三十八年振りに本別へ戻って来た。外から見た、本別の良い所悪い所、また、行政の対応の仕方。健康者から見た施設等のバリア、果たして本別の施設がやさしい造りになっているか。皆が歳をとっていく、ひとにやさしいまち、明るいまちづくりのお手伝いをしていきたい。
- 色々なボランティアを通して、明るく、楽しく、元氣の出るまちであってほしい。

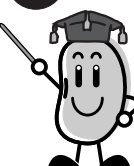
第5次の計画も町長から白紙で諮問され、策定委員それぞれが色々な意見を出し合い、事務方がまとめた。計画が出来上がった時は、それなりの充実感があったが、策定委員と役場の事務方だけで、どうも町民全体のものになっていないような気がする。町民とお話をしたが、やはりそうで総合計画のことの認識があまり無かった。総合計画というのは町民の皆さんのためのものであるから、町民一人ひとりのためになる計画を策定していきたい。ここに居る委員さんが自分の団体や自分の周りの人の意見も聴いていただきたい。さらに、策定状況も周りの人に伝えていただき、情報交換をしていただきたい。一人でも多くの町民に参加いただきたい。町民の皆さんと作っていきたい。第5次計画のキーワードであった「協働」が多くの人に浸透した。皆さんと共有しながら町民の皆さんに根付くキーワードを模索していきたい。



今野公司会長

SWOT分析で 「キーワード」を探る

本別町の現状を分析するため、「SWOT分析表」で委員各自が本別町の「強み」「弱み」「チャンス」「脅威」をとらえ、新計画のキーワードを探る。
今回の策定審議会において、まちづくりの「キーワード」を探り、本別まちづくりの「幹」「枝」をイメージしていきたいと思っています。



SWOT分析とは？

強み (Strength)・弱み (Weakness)・機会 (Opportunity)・脅威 (Threat) の頭文字を取ったものである。主体的に解決できるSとWに対し、OとTは周囲環境として受け入れざるを得ない要素である。
SWOT分析は、自治体を取りまく外部環境（機会・脅威）の変化に対応し、自らの内部要因（強み・弱み）を分析しながら、自らの自治体の成長と発展のために自らのミッション（使命）・ビジョン（将来像）・戦略課題を導く方法論である。

総合計画についての問い合わせ

企画振興課

企画・生涯学習担当

☎222-8121

（課直通）



児童館キャンプ

7 24・25

幅広い年齢の子供たちが集団活動を通して「遊びながら学ぶ」ことを目的とした児童館キャンプが7月24日、25日、中央公民館で開催されました。悪天候が予想されたことから急きょ会場が本別公園キャンプ場から中央公民館に変更されましたが、参加した小学1年生から中学3年生までの28人は、ボランティアクラブかめや児童厚生員などのサポートを受けながら、館内ナイトウォークや食事作りなどで交流を深め、楽しい2日間を過ごしました。



町国保病院運営モニター会議

7 28

7月28日第7回町国保病院運営モニター会議が総合ケアセンターで行われました。一条正彦院長から、整形外科外来と泌尿器科外来の開設や今年度の病院まつりについては、新型インフルエンザの蔓延を防ぐため開催を中止し、次年度に向け準備するとの説明がありました。事務局からは病院機能評価受審審査結果が報告がされ、出席した委員12人は、審査内容や改善事項等を広報やいざよい会などで町民に周知し、もっと病院をPRしていきましょうと意思確認を行いました。



ドッジボールでさわやかな汗を流しました

7 29

今年で50回目を迎えた少年少女体育大会が7月29日、銀河アリーナで行われ、ドッジボール競技に町内の小学生で編成された8チーム63人が出場し、予選リーグの後、上位2チームによる決勝トーナメントを行いました。いつも学校で行っているドッジボールとは少し違うルールに戸惑いながらも、応援に駆け付けた父兄の声援の中、果敢に攻める選手、相手の攻撃を上手にかわす選手など、みんな元気にプレーしさわやかな汗を流していました。成績は次の通りです。



- 第1位 本気じゃないよ（勇足）
- 第2位 きょうちゃん（勇足）
- 第3位 仙美里わくわくチーム（仙美里）

徳島県小松島市からの派遣職員 平田直之さん（28歳）

8 3

平成11年にスタートした「友好都市」徳島県小松島市職員との相互研修のため、同市職員の平田直之さん（27歳）が8月3日に着任式を終え、企画振興課に配属されました。平田さんは「3か月という短い期間だが、本別との交流を深めるために、風土や文化などを少しでも多く学び小松島市に持ち帰りたい」と抱負を語っています。平田さんの研修期間は10月30日までです。



生キャラメル作り に挑戦！

8 4



生キャラメル作り

子ども夏休みわくわく講座「生キャラメル」作りが8月4日、中央公民館で開催されました。参加した町内の小学1年生から6年生21人が、小泉優子さん（栄町）を講師に生キャラメル作りに挑戦。火にかけて材料を焦がさないようにキャラメル色になるまで混ぜ合わせるなど、ボランティアの澤田京子さん（柏木町）と本別高校3年の浜名英理さん、黒沢はるかさんのサポートを受けながら生キャラメルを完成させ、試食では、「おいしい」と満足そうな表情を浮かべていました。8月7日には2回目のわくわく講座「勾玉」作りが実施され、小学生20人が古代のアクセサリ作りに挑戦し、夏休みの楽しいひとときを過ごしました。



勾玉作り

いい記録を残せました

8 4

7月25日、26日に函館市で開催された第27回北海道小学生陸上競技大会に出場した本別陸上少年団（中山智洋監督）の団員10人が8月4日、教育委員会を訪れメダルなどを手に結果の報告を行いました。それぞれが自己ベストを更新するなど素晴らしい成績を残し、来年も全道大会出場を目指してこれからも練習を続けて頑張りますと意欲を見せました。澤田満教育長は「練習を継続して続けていけば夢は必ずかないます。これからも頑張ってください」と健闘をたたえました。



自然と触れ合いました！

8 5・6

あかげら少年団夏休みキャンプ「自然探偵団」が8月5日、6日、本別公園静山キャンプ場で行われました。体育指導委員などの指導の下、7人1グループで役割分担をしながらテント設営や食事作り、後片付けをみんなで協力して取り組みました。2日目には幽仙峡での化石発掘と金鉱探検を体験し、貝殻の化石や金を見つけ大喜びするなど、自然に触れながら2日間を過ごした参加者27人は、夏休みのいい思い出を作りました。



アメニティ本別で 夏祭り開催

8 6

アメニティ本別（中川祐一施設長）主催の夏祭りが8月6日、アメニティ本別駐車場で盛大に開かれました。施設利用者とその家族、地域の人との触れ合いを目的としたこのお祭りは、三味線演奏、民謡、よさこい、盆踊り、花火のほか屋台も出るなど、参加した約180人は楽しいひとときを過ごしました。



町民懇談会

8 7

町議会による「議会のあり方、議員定数、報酬」についての町民懇談会が8月7日、町体育館で開かれました。高橋利勝副議長が「町民の生の声を聴くために、今回の懇談会を実施しました。今後の参考とするため、きたんのない意見を出してもらいたい」とあいさつ。懇談会では、今年実施された町民アンケートの結果などをもとに設定された、「議会活動に対する印象と議員に望むこと」「議員定数と報酬について」をテーマに参加した約60人による活発な意見交換が行われました。この懇談会は、同日に仙美里地区、8日に勇足地区、美里別地区でも開催されました。



通学路が きれいになりました 8 18

本別町議会（笠原求議長）が8月18日、愛のかけはし連絡通路から中央小学校までの通学路でマイマイガの駆除を行いました。子供たちが翌19日から始まる2学期を新しい気持ちで清々しく登校できるようにと、参加した9人が消防車の放水で取り除かれた死骸や柵についた卵塊を、ほうきなどを使いきれいに取り除く作業に汗をながしました。



来年も頑張ります！ 8 20

7月28日から30日に帯広市で開催された陸上の全道大会に出場した菅原梓さん（本別中2年）と、7月31日から8月2日に函館市で開催された水泳の全道大会に出場した菅原章吾さん（本別中2年）、大井康平さん（本別中1年）が8月20日、教育委員会を訪れ大会での結果を報告しました。3人は、予選通過はなかったものの自己ベストを更新する成績を残し、来年も頑張りたいと意欲を見せました。澤田満教育長は「今まで練習してきたことをどれだけ出せたかが大切。この経験を今後につなげて頑張ってください」と健闘をたたえました。



太陽の丘杯パークゴルフ大会 8 22

太陽の丘杯パークゴルフ大会（本別町・町教育委員会主催）が8月22日、太陽の丘パークゴルフ場で開催されました。大会には帯広、池田、士幌など町内外の102人が参加。さんさんと輝く太陽の下、起伏に富んだ6コース54ホールで自慢の腕を競い合い、爽やかな汗を流し交流を深めました。

成績は次の通りです。※本別町分
 〈男性〉 準優勝 小林 正高さん
 〈女性〉 準優勝 渡辺 初子さん



自慢の喉と演奏を披露 8 22

民謡三味線発表会（町文化協会・中央公民館主催）が8月22日中央公民館で開催され、協会に加盟する10団体が出演し、日ごろの稽古の成果を発表しました。各団体は自慢の喉と演奏を披露した



ほか、出演者全員による「花笠音頭」などの合奏も行うなど、会場を訪れた約150人を楽しませました。

心地よい音色 8 22

本別ブラスアンサンブル（唯野靖紀会長）による定期演奏会が8月22日、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開催されました。団員10名により、NHK大河ドラマ「篤姫」の主題歌や演歌などアンコールを含め全11曲を演奏。詰めかけた、友人や子供たち約40人は、心地よい音色に酔いしれていました。



みんなの健康 301

歩く力が落ちてきたために出掛ける機会が減ってきた、動くときに家族の手を借りることが必要になってきたということはありませんか？

介護保険での 福祉用具利用

福祉用具をうまく使うと、今までできなかったことができるようになります。介護の負担が軽くなる

ことがあります。介護保険では、要介護認定で該当になった在宅生活を送る人に、福祉用具のレンタル（要介護度による限



度額の範囲内で自己負担は一部）と、購入費を支給（二年に十万円以内、自己負担は一部）するサービスがあります。レンタルまたは購入のいずれも品目が決まっており、レンタル品には、歩行補助杖や歩行器、車いす、また特殊寝台や手すり（工事なく取り付けられるもの）等があり、購入の品目には、ポータブルトイレやシャワーチェアなどトイレや入浴に関連する用具があります。介護保険制度で福祉用具を利用するとき、要介護度によってレンタルできる種目が決まっていたり、指定を受けた事業者から購入しなければならぬなど、色々な手続きがあります。お体やお住まい、生活の状況に合った福祉用具を選ぶためにも、まずはケアマネージャーにご相談ください。

本別町総合ケアセンター
 社会福祉士 高橋麻希子

足寄町

2009 オンネット物語

神秘の湖オンネットで過ごす、初秋のひととき。

□日時 9月27日(日)

午前9時30分～午後2時

□場所 オンネット・国設野営場

□内容

☆自然ふれあい教室

オンネットの散策路で森に親しむ教室を開催します。小学生から大人までどなたでも参加ください（9月17日(木)まで受け付け。また当日会場でも受け付けます）。

陸別町

第36回北稜岳町民登山会

今年の北稜岳町民登山会は、9月27日(日)開催となります。多数の参加をお待ちしています。

□とき 9月27日(日)

午前7時30分 ※雨天中止
 陸別町役場前出発



—足寄町・陸別町から—



- ① 雌阿寒岳登山コース
- ② オンネット・湖岸遊歩道コース
- ③ 湯の滝遊歩道コース
- ☆フオートコンテ
- ☆スト作品展示
- ☆オンネット・コンサート
- ☆あしよろ観光協会出店コーナー
- ☆農産物無料試食および特売コーナー
- 詳細 あしよろ観光協会 2516131
- ところ 北稜岳
- 交通手段 町バス利用（自家用車乗入れ禁止）
- 参加料 中学生以下 500円
高校生以上 1000円
- 申込期限 9月18日(金)まで陸別町教育委員会へお申し込みください
- ☎ 2712123
- その他 参加者全員に参加記念品（袋）と現地でのこ汁を無料提供します。各自昼食（お弁当）をご用意ください

お急ぎください 定額給付金申請 申請期限は 今月24日までです

定額給付金の申請開始から約四か月が経過し、まもなく申請期限を迎えます。しかし、八月十四日現在でまだ九十三世帯が申請をされていません。申請期限が過ぎると、給付金受給を辞退したとみなされ、給付金を受けることができません。申請がお済みでない人は、早めに申請をお願いします。また、申請書がお手元に届いていない人は、定額給付金窓口までお問い合わせください。

定額給付金詐欺にご注意ください!!

市町村や総務省などの職員が、『給付のための手数料などを求めたり』『ATM（現金自動預払機）の操作をお願いしたりすること』は絶対ありません。

不審な電話、郵便、訪問があった場合は、企画振興課定額給付金担当（☎22-2141）か緊急時は警察署（☎110）、または警察相談電話（☎9110）へご連絡ください。

問い合わせ

企画振興課 定額給付金担当

☎22-8121

未来に輝く 子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたくさんのお愛に包まれてすくすく元気に育ってね！



北4丁目
鈴木 運れ音おんくん
(奈央ママ)



山手町
藤田 悠ゆう以いちん
(薫ママ)



美里別東中
濱 名 瑛えい太たくん
(のぞみママ)



向陽町
大道 由ゆう誠せいくん
(里香ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

マイマイガ 今年も大発生

昨年突然大量発生したマイマイガが、今年はさらに数を増やし大発生しました。7月末ころから姿を見せ始め、8月中旬にはその数はピークに。夜間街路灯に群がり、歩行者や車両の通行に支障を来したほか、いたる所に卵を産み付けており来年の異常発生が懸念されます。少しでも来年の発生数を抑えるために、自宅などに産みつけられた卵塊の除去にご協力をお願いします。除去する際は、リン粉で目のかゆみやなどの痛みが出ることもあるほか、肌の弱い人は肌がかぶれることがありますのでご注意ください。取り除いた卵は、20cm以上の地中に埋めるか埋め立てゴミ袋に入れて処分をしてください。



道路一面のマイマイガ

ご寄付ありがとうございます

平成21年7月22日から8月19日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町特別養護老人ホーム物品購入費指定
金200,000円…………… 栄 町 小澤アキ子
- ★本別町老人ホーム指定
タオル100枚…………… 南2丁目 浅見シゲ
スイカ15玉
…………… 本別町中央自治会連合会 会長 佐々木哲夫
- ★本別消防署指定
タオル50枚…………… 本別日赤奉仕団委員長 藪谷洋子

広報ほんべつ 第971号

平成21年9月1日発行
印刷／本別印刷株式会社

本のある暮らし

102

素朴なぬくもり 布カバー

図書館ファースト・ブック事業

お誕生

7月後半から
8月前半の
届出分

藤田 悠^ゆ 以^い 智^ち 寛^{かん} 7/12 山手町

三輪 琉^{りゅう} 真^ま 貴^き 之^の 7/12 南4丁目

鈴木 蓮^{れん} 音^{おん} 育^{いく} 英^{えい} 7/17 北4丁目

山下 稀^き 実^み 花^か 正^{せい} 悟^ご 7/22 勇足東3

山田 匠^{たく} 真^ま 浩^{こう} 司^し 8/1 向陽町

おくやみ

内田ヨネ子^こ 94歳 8/3 美里別西上

佐々木千恵子^こ 61歳 8/6 向陽町

安住 治子^こ 75歳 8/10 山手町

今、布の良さが見直されています。柔らかな手触りと温かさに安心感があり、布の色あいが赤ちゃんの色彩感覚の発達を促すのです。

ファースト・ブックの手づくり絵本は、図書館ボランティアぶっくる手づくりの布カバーをおすすめしています。本の角などが赤ちゃんに当たっても安全のように、大切な本が傷まないように、ぬくもりと愛着が長く感じられる布を使っています。



赤ちゃん和妈妈のために
少しでもお役に立てれば...

楽しみながら
作っていますよ

布カバーを作る図書館ボランティア
ぶっくる会員の鎌田きくゑさん(左)
と佐藤郁子さん(右)



倉田さんが選んだ布カバー

参加者の倉田智美さん

「布カバーをいただき、とてもうれしいです。ボランティアさんの手づくりと聞いて感動しました。本を大切にする優しい子になってほしい」

布カバーが赤ちゃんに優しい心を伝えてくれるでしょう。

わたしたちのまち

前月比

人口 8,578人(-21)

男 4,222人(-17)

女 4,356人(-4)

世帯数 3,947戸(-7)

〔7月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称：ぶっくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112

発行 本別町

編集 企画振興課
広報電算担当

住所 北海道中川郡本別町
北2丁目4番地1

電話 0156-22-8121
(直通)
FAX 0156-22-3237

ホームページ
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/>



資源を大切に——
広報ほんべつは、道産間伐材を使用しています。